

SSL modules for API 500 format racks

The legendary sound of SSL analogue processing for this popular rack format.

There are five modules available in the range:

VHD Pre Module

ポピュラーな 500 フォーマットモジュールラック仕様の VHD マイクプリモジュールは、世界中のリーディングスタジオで高い評価を得ている SSL のラージフォーマットコンソール Duality で培われたユニークで多彩な VHD マイクプリアンプのサウンドを、あらゆるサイズのスタジオで実現できるモジュールです。

VHD プリは非常にクリーンな SSL SuperAnalogue™ レコーディンググレードのサウンドのみならず、Duality で高い評価を受けている VHD 回路をシグナルパスに挿入できます。SSL が特許を持つ VHD (バリエブル・ハーモニック・ドライブ) 回路は完全なアナログ信号回路で豊かなハーモニックディストーションを発生させます。VHD 回路はインプットゲインの上昇にあわせて 2 次から 3 次までの倍音歪みをシームレスに発生させ、素材に付加して豊かなサウンドを産み出します。

低めのインプットゲインでは柔らかな真空管のテイストやトランジスターのエッジ感を付加し、ゲインを上げていくことでより強力な歪み感を産み出し、強烈なトランジスタ・グランジサウンドを実現します。

VHD プリは多様なサウンドを作り出すことができる便利なスタジオグレードのマイクプリです。SSL 伝統のウルトラクリーンなサウンドから柔らかなあるいは完全にイカれた歪んだサウンドまで、あなたのマイクプリに対するイメージを変える新しいサウンドを提供します。

LMC+ Module

LMC+ モジュールはクラシックな SSL リスンマイク・コンプレッサーを新しく、そしてさらに強力にして 500 フォーマットラックに収めました。これは伝説の SL4000E シリーズコンソールに実装されている有名なプロセッサーで、多くのプロデューサーが持つレコーディング秘密兵器のうちのひとつです。

そもそもはスタジオやパフォーマンスブースのコミュニケーションマイクからの音がオーバーロードしないようにするために設計されたものですが、固定されているアタックとリリースのカーブはアンビエントドラムのマイクに使用するのに最適だったのです。

新しい LMC+ モジュールは SSL 伝統のハイパス・ローパスフィルターを装備し、任意の周波数レンジで限定してコンプレッサーのサイドチェーンに挿入できます。さらにウェット/ドライブレンドコントロールも装備しています。これら 2 つの新しい機能を装備した LMC+ は使いやすく多様なサウンドを産み出す強力なツールとして誕生しました。

“Scoop” スイッチはウェットシグナルの位相を反転させます。また、ユニークな “Split” スイッチによってバンドパス・サブストラクションモードになり、フィルタリングされた帯域がコンプレッサーに送られるとともにその帯域がドライパスから排除されたうでウェット/ドライの混ざり具合を連続可変できます。フィルターとサイドチェーンを一緒に、あるいは別々に使用することで LMC+ は多彩なサウンドを多様な目的で実現させ、創造の可能性を広げます。



SSL 500 format Modules. This is SSL.

Solid State Logic
S O U N D | | V I S I O N

Stereo Bus Compressor Module

Stereo Bus Compressorは、1980年代のSSLアナログコンソールSL4000 Gシリーズのセンターセクションに搭載されていました。このユニットは非常にシンプルで、出来上がるミックスのサウンドにパンチとドライブを加え、サウンドをより良く、よりパワフルにすることを目的として設計されており、あなたのミックスするサウンドに妥協のない一体感や強さをもたらします。またこのユニットは、優れた音響特性を持ち、世界有数のオーディオエンジニア達が多くのヒットミックスをクリエイティブしてきたSSLサウンドのキーエレメントでもあります。この500シリーズラックマウント用 Stereo Bus Compressorは、多くの500 Seriesラックユーザーの方々にとって有効で必須のサウンドメイクツールとなるでしょう。

E-Series EQ Module

500 Seriesラックマウント用のEシリーズモジュールは、1980年代に数々のレコーディングで使用されたSL4000 Eシリーズコンソールのチャンネルストリップを再現した、伝説の80年代初期のサウンドテイストを持つモジュールです。1979年から1987年に渡って作られたコンソールの仕様に沿ってタイプの異なる2つのEQを搭載しています。それぞれのEQは独特のレスポンスカーブとキャラクターを持っています。これらはコンソールに実装されていた当時、LFボットのキャップの色でその違いを表しており、“ブラウン”タイプや“ブラック”タイプとして知られています。

EシリーズEQモジュールでは、数多のプロデューサーに愛されていたこれら2つのタイプのEQをスイッチで切り替えることができます。SSLのチャンネルEQは伝統的な4バンド構成でLMFとHMFはQコントロールを持ったパラメトリックタイプ、LFとHFはシェルビングカーブとベルカーブを選択でき、これが業界の標準構成となっています。

E-Series Dynamics Module

500 Seriesラックマウント用のEシリーズモジュールは、1980年代に数々のレコーディングで使用されたSL4000 Eシリーズコンソールのチャンネルストリップを再現し、4000 Eシリーズコンソールのチャンネルストリップに搭載されていたVCAサウンドをそのまま再現するモジュールです。オリジナルのSL611 E Seriesチャンネルストリップのコンプレッサー/リミッター、エキスパンダー/ゲートのサウンドキャラクターに重要な部品と回路を忠実に再現し、True RMSコンバーターをサイドチェイン回路に使用し、オリジナルユニットで使用されていたクラスAのVCAチップと同様にゲイン系統全てにディスクリートデザインを採用しました。

またコンプレッサーはスイッチ切り替えにより通常のログカーブよりもリニアなカーブのリリース特性を持つ“Over-Easy”のタイプも選択できます。つまり、ひとつのコンプレッサーで3種類のそれぞれに独特で音楽的なサウンドを選ぶことができます。



実際の製品構成は写真のものと若干異なる場合があります。また性能向上のため仕様を予告なしに変更する場合がありますのでご了承下さい。

日本語版 © Solid State Logic Japan K.K. ソリッド・ステート・ロジック・ジャパン株式会社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-55-14 TEL: 03-5474-1144 FAX: 03-5474-1147

SSL 500 format Modules. This is SSL.

Solid State Logic
S O U N D | | V I S I O N